

授業づくりのポイント

「振り返り」の充実に向けて



令和3年6月

大分県教育センター教科研修・ICT推進部

(監修) 上越教育大学 准教授 河野 麻沙美 先生

○新しい学習指導要領が、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面実施となりました。

児童生徒に必要な資質・能力を育むための学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していくための視点として「主体的・対話的で深い学び」が示されました。

○これまで以上に、児童生徒が、何を、どのように学び、何ができるようになったのか等、自身の学びの過程や変容を自覚できる場面(振り返り)を重視し、授業改善を進めることが必要になります。

○大分県教育委員会では、「新大分スタンダード」による授業改善を進めるなかで、「1時間完結型授業」の要素の一つとして「振り返り」を取り上げています。(<http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/2001503.html>)

○ここでは、あらためて、新学習指導要領の考え方を踏まえ、授業における「振り返り」のポイントを整理しました。

1. 「振り返り」の質を向上させるための5つのポイント、13の視点

| 「ポイント」 | 振り返りの「視点」 |
|---------------------|--|
| 【1】「振り返り」の目的を確認する。 | ① これまでの学びを自覚する。 ② これからの学びを見通す。 ③ 次の学びを生み出す。 |
| 【2】学習時間のまとまりを意識させる。 | ④ 1単位時間を振り返る。 ⑤ 単元全体を振り返る。 ⑥ 複数の単元を関連付けて振り返る。 ⑦ 他教科等と関連付けて振り返る。 |
| 【3】「振り返り」の内容を焦点化する。 | ⑧ 学習集団の「めあて」「課題」及び自己の「めあて」「課題」から振り返る。 ⑨ 学習の過程を振り返る。 ⑩ 認知の過程を振り返る。 |
| 【4】「振り返り」を振り返らせる。 | ⑪ 自己の成長を自覚する。 ⑫ 「振り返り」を批判的に検討する。 |
| 【5】他者と「振り返り」を共有させる。 | ⑬ 他者の「振り返り」の内容を自分の学びに生かす。 |

*指導の目的や意図に応じて、振り返りの「ポイント」や「視点」を意識し、授業改善につなげましょう。

2. 「振り返り」の視点を意識した教師の声かけと児童生徒の「振り返り」記述（例）

| ポイント | 振り返りの視点 教師の声かけ（例） | 児童生徒の「振り返り」記述（例） *参考「言語活動の充実に関する指導事例集 ～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～」 |
|------------------------------------|--|---|
| <p>【1】</p> <p>「振り返り」の目的を確認する。</p> | <p>① これまでの学びを自覚する。</p> <p>今日の学習でわかったことやできるようにになったことを書き出しましょう。</p> <p>② これからの学びを見通す。</p> <p>今日の学習の続きとして、取り組みたいことを書きましょう。</p> <p>③ 次の学びを生み出す。</p> <p>今日の学習からいろいろなことがわかったね。でも、まだ疑問に思うことがあれば書きましょう。また、もっとやってみたいと思うことも書きましょう。</p> | <p>① 今日の授業では、いくつかの文章を目的を決めて比べて読むことで、各文章の特徴を捉えやすかった。（小5・国語科）</p> <p>② これまでの学習でわかったN市の産業の特徴を地域の発展と結びつけて、クラスみんなに説明するために、わかりやすくポスターにまとめたい。班で協力して2時間必要な。（小6・社会科）</p> <p>③ $39-15$の計算をするときは、同じ位で分けて引き算をすればよいことがわかった。でも、$32-17$みたいなときは、どうすればよいのだろう。これまでのやりかたではできないよね。（小2・算数科）</p> |
| <p>【2】</p> <p>学習時間のまとまりを意識させる。</p> | <p>④ 1単位時間を振り返る。</p> <p>今日の学習を「ゆで時間に注意して、おいしいホットサラダを作ろう。」の「めあて」から振り返りましょう。</p> <p>⑤ 単元全体を振り返る。</p> <p>これまで、8時間にわたって、「みんなでねらうぞタッチダウン!『フラッグフットボール』」の学習に取り組んできました。今</p> | <p>④ 今日は、ほうれん草のホットサラダを作った。前の授業で、調理の計画を立てたが、計画よりもゆで時間を少し長くした方が、やわらかくなっておいしかった。固めの方が好きな人は、計画通りの時間でよいかもしれない。次の時間に「ボイル博士の技を究める」ための、他の班の工夫を聞くのが楽しみだ。（小5・家庭科）</p> <p>⑤ 最初、「フラッグフットボール」って、ぜんぜんわからなかった。でも、やり方やルールを確かめて、実際にやることで、楽しくできるようになった。ゲームの前と後の、チームでの話し合いは、とてももりあがった。Bさんが相手を引きつけている間に、誰もいない場所ができて勝ちにつながった。みんなで考えた作戦がう</p> |

| | | |
|------------------------------------|--|--|
| | <p>日は、1時間目から最後の授業までを振り返り、取組の様子やできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書き出しましょう。振り返るときには、学習記録カードを読み直したり、チームメンバーと確認したりしましょう。</p> <p>⑥ 複数の単元を関連付けて振り返る。</p> <p>今日の「めあて（会話文を取り上げて大好きな場面を紹介しよう）」から、できたこと、感じたことを書きましょう。また、友だちへの紹介の仕方について、一学期に取組んだ「すきなたべものについてお話ししよう」の学習から学んだことができたかどうか振り返ってみましょう。（一学期の学習記録が手元にある。）</p> <p>⑦ 他教科等と関連付けて振り返る。</p> <p>今日は、調べたことをいろいろな表現方法でまとめましたね。その際、他の教科で学んだことを活用したのであれば、その内容についても振り返りに書き出して下さい。</p> | <p>まくいって勝ったときは、すごいなと感動した。自分もAさんのアドバイスからパスがうまくなったことがうれしい。片付けがよくできていないときがあったので、次の種目のときには気を付けたい。また、新しいゴール型ゲームに挑戦したいな。（小3・体育科）</p> <p>⑥ 「ふたりはともだち」を読んで、おもしろいと思った場面を友だちに紹介しました。私は、がまくんとかえるくんが家の前に座って、お手紙をなかよく待っている場面が大好きです。かえる君が「きつくるよ。」と言った言葉に胸があたたかくなったからです。このことをみんなにお話しするときに、声が小さくてよく聞こえなかったそうです。前に国語の勉強で、「聞く人のことを考えて、声の大きさに気をつけようね。」とたしかめたことを思い出しました。今度、全校集会でも紹介するので、そのときは、みんなに聞こえるように、声の大きさと話す速さに気をつけようと思います。（小2・国語科）</p> <p>⑦ 徳川家光の時代の身分ごとの人口を調べグラフに表すことにした。僕はすぐに、算数で勉強した棒グラフを思いついたが、Cさんは円グラフの方がよいという意見だった。円グラフの方が、それぞれの身分の人口の割合がわかるからだ。なるほどと思った。（小6・社会科）</p> |
| <p>【3】</p> <p>「振り返り」の内容を焦点化する。</p> | <p>⑧ 学習集団の「めあて」「課題」及び自己の「めあて」「課題」から振り返る。</p> <p>全体の「めあて」だけでなく、自分の「めあて」からも、わかったこと、できたことなどを書き出しましょう。</p> | <p>⑧ 今日の「めあて」は、「モンシロチョウの体のつくりを調べてわかったことをまとめよう」で、私は、わかったことを絵と文章でわかりやすくまとめることを自分の「めあて」にしました。モンシロチョウは「頭・胸・腹」の3つの部分からできていて、足は、胸に6本ついていることがわかりました。絵にかくことで、足は、左右に3本ずつきれいに並んでいることがはっきりしました。頭と胸と腹の大きさの違いがよくわかりませんでした。（小3・理科）</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| | <p>⑨ 学習の過程を振り返る。</p> <p>今日の学習活動を時間の経過とともに、振り返りましょう。「誰と」「何を」したかわかるように書きましょう。</p> <p>⑩ 認知の過程を振り返る。</p> <p>今日の学習に取り組む中で、自分の考えがどのように変わっていったか書きましょう。</p> | <p>⑨ お気に入りの物語を紹介するために、選んだ理由をノートに書き出した後、同じ物語を選んだ友だちと、理由について交流しました。私は、気に入った表現を理由として取り上げていましたが、Aさんは、主人公の気持ちが大きく変化した場面を取り上げ、その変化が物語にひきつけられた理由であるとしていました。先生のモデルでも「変化」がキーワードだったので、交流することで、そのことに気づけてよかったです。 (小4・国語科)</p> <p>⑩ スーパーで働く人たちの工夫を考えると、「売る人」のことだけ考えるとなかなか思い浮かばなかったけど、「買う人」のことも考えると、工夫が見つかりやすかったです。 (小4・社会科)</p> |
| <p>【4】</p> <p>「振り返り」を振り返らせる。</p> | <p>⑪ 自己の成長を自覚する。</p> <p>自分の書いた「振り返り」を読み直し、これまでの自分と今の自分を比べて、変わったな、成長したなと感じられることを書きましょう。</p> <p>⑫ 「振り返り」を批判的に検討する。</p> <p>自分の書いた「振り返り」を読み直し、再度、自分の学習過程や、そのとき考えたことなどを確かめましょう。思い出したことなどがあれば書きましょう。</p> | <p>*次の、自分の「振り返り」を読み直して 「スーパーで働く人たちの工夫を考えると、「売る人」のことだけ考えるとなかなか思い浮かばなかったけど、「買う人」のことも考えると、工夫が見つかりやすかったです。 (小4・社会科)」</p> <p>⑪ 今までは、「働く人たちの工夫」といわれれば、その立場の人だけを思い浮かべて考えていたけど、違う立場の人と比べて考えることができたのは、よかったなと思う。「比べる」って大事なことだな。でも、いろいろなところで、実は比べていることもあるのかもしれない。確かめてみると面白いかもしれないな。</p> <p>⑫ この学習では、グループでの話し合いもあって、Aさんが、『働く人の工夫』って、仕事の内容の違いだけじゃなくて、同じ仕事でも、時間帯によってちがうんじゃない?』と言ったことから、考えがさらに広がった。そういうことも振り返りには残しておいた方がよいな。</p> |

| | | |
|------------------------------------|--|--|
| <p>【5】</p> <p>他者と「振り返り」を共有させる。</p> | <p>⑬ 他者の「振り返り」の内容を自分の学びに生かす。</p> <p>友だちの書いた「振り返り」を読んで、気付いたことや考えたことなどを書きましょう。</p> | <p>*次の、友だちの「振り返り」を読んで</p> <p>今日の「めあて」は、「モンシロチョウの体のつくりを調べてわかったことをまとめよう」で、私は、わかったことを絵と文章でわかりやすくまとめることを自分の「めあて」にしました。モンシロチョウは「頭・胸・腹」の3つの部分からできていて、足は、胸に6本ついていることがわかりました。絵に描くことで、足は、左右に3本ずつきれいに並んでいることがはっきりしました。頭と胸と腹の大きさの違いがよくわかりませんでした。 (小3・理科)</p> <p>⑬-1 全体の「めあて」から、自分の「めあて」をどう作っていいか困っていたけど、Aさんの自分の「めあて」がとても参考になりました。</p> <p>⑬-2 「わかったこと」をまとめるときは、文章だけでなく、絵にかくことも一つの方法だと、よくわかりました。ほかにも、表にまとめて書いた「振り返り」に書いている人がいて、自分もやってみようと思いました。</p> |
|------------------------------------|--|--|



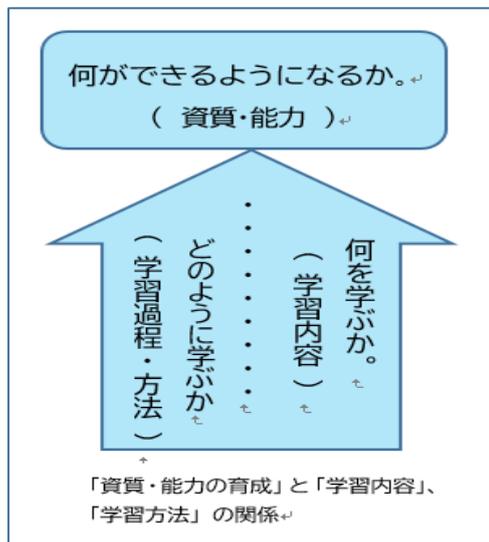
《補足資料》

学習者自身による学習の「振り返り」の重要性

*新学習指導要領を読み、あらためて考えてみましょう。

(1) 新学習指導要領のねらいから考える。

- ① 2030年の社会とさらにその先の豊かな未来を創っていける子どもを育てていくことを目指す。
 - ・力強く生き抜き、よりよい社会を創っていける子ども
 - ・試行錯誤、他者との協働、粘り強さ → 未知の課題について答えを創り出していく子ども
- ② 学習する子どもの視点に立つ。
 - ・教える大人の視点からではなく、学ぶ子どもの視点から教育課程の在り方を見直す。
 - ・子どもが、教科等の学びを通して、「何ができるようになるのか」という観点から、育成すべき資質・能力、学習内容、学習過程・方法を整理する



- 何ができるようになるか。(資質・能力3つの柱)
 - ・生きて働く **知識・技能**
 - ・未知の状況にも対応できる **思考力・判断力・表現力等**
 - ・学びを人生や社会に生かそうとする **学びに向かう力・人間性等**
- 何を学ぶか。
 - ・指導事項、指導内容
- どのように学ぶか。
 - (資質・能力を育むために必要な学びの在り方)
 - ・ **主体的・対話的で深い学び**
 - ※必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくための授業改善の視点

③ 主体的・対話的で深い学びを実現する。

A 主体的な学び

- ・子ども自身が興味をもって積極的に取り組む。
- ・見通しをもって粘り強く取り組む。
- ・ 自己の学習活動を振り返り、その意味を考えたり、身に付いた資質・能力を自覚したりする。
- ・ 振り返ることで生まれた気付きや疑問などから新たな課題を生み出し、次の学びにつなげる。

B 対話的な学び

- *多様な表現を通じて
- ・子ども同士の協働を手がかりに考える。
- ・教職員や地域の人との対話を手がかりに考える。
- ・先哲の考え方を手がかりに考える。
- ・自己内対話を手がかりに考える。

C 深い学び

*子どもたちが、各教科等の学びの過程のなかで、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら

- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する。
- ・知識を精査して新たな考えを形成する。
- ・問題を見いだして解決策を考える。
- ・思いや考えを基に想像する。

*資質・能力がさらに伸ばされる。
*新たな資質・能力が育まれる。

【主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画例】

小学校国語科単元計画例【第3学年：読むこと イ】

【単元のねらい】 遊びのことに書かれてある説明文を、段落それぞれが持つ意味や働き、「初め」「中」「終わり」の文章構成の視点からカードにまとめることを通して、問題、答え、具体例などの文章の理解に重要な役割を果たす段落や文を捉えることができるようにする

【単元のめあて】 雨の日を楽しくするために「言葉遊び・コマ遊び 私のおすすめカード」を作って全校のみんなに見てもらおう！

| | | | |
|----|---|-------------|-----------------------------------|
| 1次 | 《学習の見通しをもつ》 1 【めあて】「言葉遊び・コマ遊びおすすめカード」を知り、学習の計画を立てよう。 | まとめ 振り返り | カードづくりを通して、段落の働きや文章構成や段落構成が明らかになる |
| 2次 | 《「言葉遊びカード」を作る》 1 【課題】 おすすめする「言葉遊び」を考えるには、どちらの文がいいかな。 (文の中から言葉遊びを探しながら、「段落」の働き・きまりをつかむ) 2 【めあて】 「まとまり(段落)」を使って読んで、表に書きぬこう。 (始・終段落の働き、問い・答え、中の構成をとらえながら、表作りをする) 3 【めあて】 「いちばんおすすめの言葉遊びカード」を書いて感想交換をしよう。 | まとめ 振り返り | |
| 3次 | 《項目を決めながら「コマカード」を作る》 1 【めあて】 どんなコマ遊びをのせるか、段落を使って文からさがしてみよう。 2 【課題】 カードには何を書きぬけばいいだろう。 (「はじめ」と「色変わりごま」の②段落を読んで表(カード)に書きぬくことを決めよう。 3 【めあて】 キーワード・中心文を使って、段落を読み取り、書きぬいてみよう。 4 【めあて】 いちばん遊びたいコマで、「おすすめカード」を作ろう。 5 【めあて】 「カード」を読みあい、感想交流をして、学習をふりかえろう。 | まとめ 振り返り | |

【単元の振り返り】
 (記述例) 文章は、「段落」というまとまりがあると、どんな遊び何を書いているか見つけやすい。一段落に一つのことがまとめられていて、その段落を読むとカードに書くことが見つけれられた。
 「はじめ」の段落に「しようかい」と「問い」があって、「中」で、それに答えて説明していた。筆者の伝えたいことの中心が「答え」で説明されているので、答えを抜き出すといいカードができた。「はじめ」「中」「おわり」のまとまりがあって、「はじめには、「問い」があり、「中」に「答え」が具体例で書かれて、「おわり」には、「まとめ」があった。

由布市立由布院小学校 森次教諭の実践をもとに作成

(2) 「学びに向かう力・人間性等」の評価から考える。

① 観点別評価

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

- ・ 自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面の評価
- ・ 自らの学習状況を客観的に把握しようとしている。
- ・ 学習の進め方について試行錯誤しようとしている。
- ・ 自らの感情や行動をコントロールしようとしている。

② 個人内評価

○ 「感性、思いやりなど」の評価

- ・ 観点別評価や評定には示しきれない評価
- ・ 「感性や思いやり」など児童生徒一人一人のよい点や可能性、進捗の状況などの評価

* 児童生徒に伝え、達成感や成就感を育む。

* 子どもの視点から教育課程や授業を見直すためには、教師の見取りだけでなく、子ども自身が、自分の学びを振り返り把握すること(メタ認知)がとても重要になります。

* 授業における「振り返り」を充実させるために様々な工夫を図ることが大切です。

* 学習評価については、「学習評価ハンドブック」(文科省)等を参考にしてください。

